

「2025 年度会計監査人の選定」提案書の記載事項

1. 会計監査人としての業務方法

選定項目	評価項目	評価指標
(1)監査実施体制 ①監査人の人員体制の考え方 ②日英言語対応可能な人員の確保 ③監査人の業務分担の考え方 ④実務経験 ⑤監査日数	・監査人員規模	・監査の実施にあたり適正な人員数(3 名以上)が確保されているか。
	・品質管理	・品質管理体制に問題はないか。
		・日本公認会計士協会における品質管理レビュー及び公認会計士・監査審査会による検査結果に問題はないか。
	・監査担当者(チーム)	・公認会計士としての 2 年以上の実務経験の有る者が監査チーム内に 3 人以上含まれているか。
		・独立性は確保されているか。
		・職業的専門家として、正当な注意が払われているか。
		・学校法人制度及び学校法人会計を理解した適切なメンバーで構成され、リスクを勘案した監査計画を策定し、実施しているか。
		・学校法人監査の経験者が含まれているか。経験を有していないメンバーに対し必要な研修が行われているか。
	・日英言語対応	・日英言語対応可能なスタッフが確保されているか。
		・理事会及び監事、評議員会及びその分科会への監査報告資料の提出および口頭説明が日英言語で対応可能か。
		・海外ネットワークを有する法人であるか。
(2)具体的な業務方法 ①監査計画の提案 ②監査手法等 ③実地検査業務報告について	・監査業務	・財務関係書類を定期的にチェックする体制がとられているか。
		・学園の監査対象を網羅した監査計画となっているか。
		・「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」に準拠した監査方法を提案しているか。
		・現金預金及び固定資産等の実査が監査計画に具体的に示されているか。
		・決算監査のための十分な体制および実施計画が具体的に示されているか。
		・作成された財務諸表の適正性チェックが盛り込まれているか。
		・財務上のリスクを踏まえた監査になっており、かつ具体的

		な説明がなされているか。
		・学園の財務会計制度の適正性のチェックは盛り込まれているか。
		・学園の内部監査部門と監査内容に係る意見交換する仕組みを提案しているか。
		・IT(財務会計システム等)への対応は十分か。
		・学校法人監査を行うにあたっての着眼点、重点事項の内容が十分か。
		・監査担当者各々の業務分担が明確に示されているか。
		・監査日数が十分確保されているか。(延べ 100 日程度)
		・公認会計士が行う監査日数が十分確保されているか。(延べ 80 日程度)
	・指導助言業務	・会計基準準拠のための提案等を盛り込んでいるか。
		・財務上のリスク回避のための提案等を盛り込んでいるか。
		・その他学園の求めに応じて助言を行う体制になっているか。
	・不正への対応	・大学の事業や管理体制等を踏まえた上で不正リスクを把握し、監査計画を策定しているか。監査計画は適切に実行されているか。不正の兆候に対し対応がなされているか。
	・情報提供業務	・会計基準改正等、制度の変化に関する情報提供を行う体制となっているか。
		・他大学や民間等の動向について情報提供の方法が示されているか。
		・その他学園の求めに応じて情報提供を行う体制について具台的に示されているか。
	・監査業務報告の提出	・監査を実施した際の業務報告書提出が盛り込まれているか。

2. 監査費用の見積

選定項目	評価項目	評価指標
(1) 監査費用の積算の合理性と総費用 ①監査費用の算定内訳 ②監査費用の考え方	・監査費用の妥当性	・監査報酬は妥当であるか。
	・監査費用の経済性	・提案内容と監査費用の積算に整合性があるか。

3. 国立大学法人等に関与した業務の実績

選定項目	評価項目	評価指標
(1)会計監査人の実績	・国立大学法人監査の実績	・国立大学法人の会計監査人としての監査および非監査

①国立大学 ②私立大学 ③独立行政法人		業務の実績がどの程度有るか。(過去３年間、機関の重複を除く)
	・私立大学法人監査の実績	・私立大学法人の会計監査人としての監査および非監査業務の実績がどの程度有るか。(過去３年間、機関の重複を除く)
	・独立行政法人監査の実績	・独立行政法人の会計監査人としての監査および非監査業務の実績がどの程度有るか。(過去３年間、機関の重複を除く)

以 上